

取扱説明書

# LG Watch Urbane

LG-W150



# 取扱説明書

日本語

- ・本書の内容および図は、お住まいの地域、サービスプロバイダー、ソフトウェアのバージョン、またはOSのバージョンによってお使いのデバイスと異なる場合があります。また、通知なしに変更されることがあります。
- ・LGの正規付属品を必ずご使用ください。提供されるアイテムはこのデバイス専用設計されたものであり、他のデバイスとの互換性がありません。
- ・このデバイスはタッチスクリーンが使用されているため、目の不自由な方のご使用には適していません。
- ・Copyright ©2015 LG Electronics, Inc. All rights reserved. LGおよびLGロゴは、LG Groupとその関連会社の登録商標です。その他の商標は各所有者の所有物です。
- ・Google™、Google Maps™、Gmail™、YouTube™、Hangouts™およびPlay Store™は、Google, Inc.の商標です。

安全に関する情報 .....	4	シアターモードの画面を一時的にオフにする .....	29
ウォッチの基本情報 .....	13	一時的に画面の輝度を増大させる .....	30
ウォッチの外観 .....	13	設定メニューの利用 .....	30
ウォッチの充電 .....	15	ストレージの管理 .....	30
充電モード .....	18	<b>音声コマンドを使用するタスク... 32</b>	
画面がフリーズした場合 .....	18	音声操作に使用するアプリの変更 .....	33
ウォッチの電源オン/オフ .....	18	メモを作成または表示する .....	33
別のモバイルデバイスに接続する .....	19	リマインダーを設定する .....	34
タッチスクリーンのヒント .....	20	歩数を表示 .....	34
ウォッチの装着方法 .....	20	心拍数の表示 .....	35
心拍数センサー .....	22	テキストの送信 .....	36
<b>ウォッチのモバイルデバイスへの接続 .....</b>	<b>23</b>	電子メール .....	37
ペアリングの前に .....	23	予定リスト .....	38
ウォッチをペアリングする方法 .....	24	ナビゲーション .....	38
ペアリング後 .....	24	タイマーを設定する .....	39
<b>ウォッチの使用方法 .....</b>	<b>25</b>	ストップウォッチを使用する .....	39
まずウォッチの画面を操作する(時刻が表示される) .....	25	アラームを設定する .....	40
画面のクイックスリープ .....	25	アラームを表示する .....	40
ウォッチ画面の変更 .....	25	<b>アプリの使用 .....</b>	<b>42</b>
通知カード .....	26	他のアプリのダウンロード .....	42
ブロック通知 .....	27	通話 .....	42
着信通知 .....	28	Google Fitアプリの使用 .....	43
通知受け取りの変更 .....	28	<b>設定 .....</b>	<b>45</b>
バッテリー残量または日付を表示する .....	29	[設定]メニューの表示 .....	45
		ディスプレイの明るさの調整 .....	45

ウォッチの画面を変更する .....	45
フォントサイズ .....	46
手首のジェスチャー .....	46
Wi-Fi設定 .....	46
Bluetoothデバイス .....	46
常に画面表示の設定 .....	47
機内モード .....	47
ユーザー補助.....	47
工場出荷時へのリセット .....	48
再起動 .....	48
画面ロック .....	48
電源オフ.....	48
バージョン情報 .....	49
<b>本取扱説明書について .....</b>	<b>50</b>
本取扱説明書について .....	50
商標 .....	51
<b>付属品 .....</b>	<b>52</b>

## 安全に関する情報

製品の電源をONにする前に、ここに記載された安全に関する基本情報を確認してください。

### 安全と取扱いに関する一般的な注意事項

製品の使用中は、次の一般的なガイドラインを守ってください。

#### 環境

- ・ **安全な動作温度。** 製品はできるだけ0°C～40°C(または32°F～104°F)の気温で使用および保管してください。極めて低温または高温の環境に製品をさらすと、損傷、誤動作、または爆発することがあります。
- ・ **運転中** 車の運転中は、運転操作に対して第一の責任を負います。運転中に電話または他の用途のモバイルデバイスやアクセサリを使用すると、注意が散漫になることがあります。常に運転に気を配ってください。
- ・ **爆発物の周囲。** 製品の火花が火災や爆発の原因になるような場所で使用しないでください。
- ・ **航空機内。** 電子機器の使用に関するすべてのルールと指示を守ってください。一般的に、離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。空港のセキュリティ装置には、主にX線装置(コンベヤベルトに乗せられた荷物用)、磁気センサー(セキュリティゲートを通過する人間用)、および磁気ワンド(人間や小物用の手で持つ装置)の3つのタイプがあります。製品を空港のX線装置に通しても問題ありません。ただし、製品を磁気センサーに通したり、磁気ワンドに近づけることはお避けください。
- ・ 特定のエリアの特別な規制に常に従ってください。使用が禁止されているエリアまたは干渉や危険の原因になる可能性があるときにはデバイスの電源を切ってください。

- ・ リストストラップを金属製のものに取り替えると、Bluetooth/Wi-Fiの接続に問題が生じる可能性があります。

## 安全にお使いいただくために

**警告:**充電クレードルには、ペースメーカー、クレジットカード、時計、および他の磁気の影響を受けやすい機器と干渉する可能性がある強力な磁石が内蔵されています。

製品の障害および火災、感電、爆発、またはその他の危険を防ぐために、次の一般的な注意事項を守ってください。

- ・ LGによって認定されたケーブル、充電器、および他のアクセサリのみを使用してください。
- ・ 製品を落としたり、何かにぶつかけたり、揺らしたりしないでください。
- ・ 曲げる、ねじる、熱する、重いものを上に載せるなど、電源コードの破損の原因を避けてください。
- ・ この製品には、デスクトップまたはノートブックを充電器に接続するためのUSBケーブルが付属しています。製品をコンピュータに接続する前にコンピュータを適切にアースしてください。デスクトップまたはノートブックコンピュータの電源コードには、機器アース導体およびアースプラグが付いています。このプラグは、地域の規則および法令に従って適切に取り付けおよびアースされたコンセントに差し込む必要があります。
- ・ 製品を修理、改造、または再製造しないでください。製品には、充電式バッテリーが内蔵されています。交換はLGまたは認定LG修理センターのみが行う必要があります。
- ・ 製品を開ける、分解する、砕く、曲げる、変形させる、穴をあける、細断するなどの行為を行わないでください。
- ・ 製品に異物を入れないでください。
- ・ 製品を電子レンジに入れないでください。
- ・ 製品を火災、爆発またはその他の危険にさらさないでください。
- ・ 柔らかい湿った布で清掃してください。強い化学薬品(アルコール、

- ベンジン、シンナーなど)や洗剤を使用しないでください。
- ・製品やバッテリーは地域の規則に従って家庭ごみとは別に処分してください。
  - ・多くの電子機器と同じように、正常に動作していても熱が発生します。十分な換気を施さないまま、極めて長い間肌が直接接触していると、不快感が生じたり、軽度のやけどを負ったりすることがあります。したがって、操作中または操作直後に製品を取り扱うときは十分に注意してください。
  - ・製品の使用に問題がある場合は、使用を中止し、正規のLG電子カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
  - ・水やその他の液体に浸したり、さらしたりしないでください。

- ・歩数計、睡眠、運動、心拍数の機能は、健康状態の治療や診断での利用を目的としていません。レジャー、健康増進、フィットネスの目的でご利用ください。
- ・心拍数の読み取り値は計測条件と周囲の状況による影響を受けます。心拍数を読み取る前に着席し、リラックスしてください。
- ・本製品の防水・防塵性能は、1メートルの深さの水槽に30分間浸漬しても製品が機能を維持できることをテストする、IP67等級を遵守しています。耐衝撃性はありません。ケースは完全に閉めておく必要があります。
- ・心拍数の読み取り値は、肌の状態、計測条件、および周囲の状況に影響を受けます。
- ・心拍数センサーの光を直接見ないでください。目を傷める場合があります。
- ・デバイスが熱くなった場合は、デバイスが冷えるまで取り外します。長時間、熱くなった表面が肌に接触すると、やけどを負う恐れがあります。
- ・心拍数機能は、心拍数を計測する目的でのみ使用する必要があり、その他の目的で使用しないようにしてください。

## バッテリーに関する注意事項

- ・バッテリーを開ける、分解する、砕く、曲げる、変形させる、穴をあける、細断するなどの行為を行わないでください。
- ・バッテリーを改造または再製造する、異物を挿入する、水や他の液体

に浸すまたはさらす、火災、爆発などにさらすなどの行為を行わないでください。

- ・動物の歯や爪のような先の尖ったものが、バッテリーに触れないようにしてください。火災の原因になる可能性があります。
- ・規定のシステムにのみバッテリーを使用してください。
- ・指定の充電器をご利用ください。非対応の充電器を使用すると、火災、爆発、またはその他の危険が発生する場合があります。
- ・バッテリーをショートさせたり、バッテリー端子に金属に触れさせたりしないでください。
- ・電池の交換に関する問い合わせはLG「お客様サポート」までお問い合わせください。
- ・子供によるバッテリーの使用は監督が必要です。
- ・製品またはバッテリーを落とさないでください。モバイル端末またはバッテリーを硬い面に落とし、損傷が疑われる場合は、サービスセンターで検査を受けてください。
- ・バッテリーの使用方法が正しくないと、火災、爆発、またはその他の危険が発生する場合があります。
- ・製品が完全に充電されたら、充電器の不要な電力消費を防ぐため、充電器を壁コンセントから抜くようにしてください。
- ・バッテリーを正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、火災、爆発またはその他の危険が発生する場合があります。

#### **バッテリー交換に関する注意事項**

- ・安全のため、製品に取り付けられたバッテリーは取り外さないでください。バッテリーの交換が必要な場合は、最寄りのLG Electronics認定サービス拠点または販売店にお持ちいただき、ご相談ください。
- ・リチウムイオンバッテリーは怪我の原因となる場合がある危険なコンポーネントです。
- ・専門の資格を持たずにバッテリーの交換を行うと、デバイスが損傷する場合があります。

## 防水性に関するご注意

本製品の防水・防塵性能は、防水防塵保護IP67\*を遵守しています。


\* IP67は、製品を室温の水道水の入った深さ最大1メートルの水槽に30分間浸漬しても、製品が機能を維持できることを意味します。塵や湿気の多い環境に製品をさらさないでください。次のような環境で製品を使用しないでください。

 水以外の液体薬品(石鹸など)に製品を浸さないでください。

 海水などの塩水に製品を浸さないでください。

 温泉に製品を浸さないでください。

 製品を身に付けたまま泳がないでください。

 製品の水中での使用には注意してください。

 製品を砂(砂浜など)や泥の上に直接置かないでください。

- 一度濡れてしまうと、本体の隙間に水分が残ることがあります。製品をよく振って水を切ってください。
- 水を切ったあとでも、内部の部品はまだ濡れている可能性があります。そのまま使用することはできませんが、濡らしてはいけない物の近くには置かないでください。衣類、バッグ、バッグの中身が濡れないようにご注意ください。
- マイクに水が残っていることが原因でボイスアクティベーションが正しく動作しない場合は、水を切ってください。
- 製品は高い水圧に耐えるように設計されていないので、高圧の水が吹き付けられる可能性がある場所(蛇口やシャワーヘッドの近くなど)で製品を使用したり、水中に長時間沈めたりしないでください。
- この製品は耐衝撃性を備えていません。製品を落としたり衝撃を与えたりしないでください。メインユニットが損傷または変形して、漏水する場合があります。

## ペースメーカーや他の医療機器

ペースメーカーを使用している場合は次の点に注意してください。

- ・製品の電源がONになっているときは、製品をペースメーカーから常に6インチ(または15cm)以上離してください。
- ・製品を胸のポケットに入れて持ち運ばないでください。
- ・RF干渉の可能性を最小限に抑えるためにペースメーカーと反対の手首を使用してください。
- ・干渉が発生した兆候がある場合は、直ちに製品の電源をOFFにしてください。

他の個人用医療機器を使用している場合は、外部のRFエネルギーから適切に遮蔽されているかどうかを医師または機器の製造元に問い合わせてください。

## ウォッチのBluetoothとWi-Fiの使用に関するヒント

- ・製品をモバイルデバイスに接続する際には、2つの機器を互いに近づける必要があります。そうしないと、使用環境によっては正常に機能しなかったり、ノイズが発生したりします。
- ・Bluetoothは、障害物のない空間で通常約10 m程度の距離で通信が可能です。この距離は使用環境によって変わります。
- ・製品と接続したデバイスの間に障害物を置かないようにしてください。入出力信号は、お客様の体や、壁、角、などの障害物に阻まれると弱まります。障害物がない場所でご使用ください。
- ・ウォッチでWi-Fi接続を使用すると、Bluetoothを使用できない場合でも、電話機またはタブレットから通知を取得できます。
- ・ウォッチは、電話機に登録されたWi-Fiリストに基づいて検索し、最も近くのWi-Fiネットワークに接続されます。

## 表示画面に関するヒント

- ・長時間、静止画像を表示しないでください。画面上に画像の焼き付けまたは汚れが発生する場合があります。
- ・画面の損傷は保証対象外であるため、10分以上、同じ画面を表示するアプリケーションはお勧めできません。

## 高周波エネルギーへの露出

電波への露出および比吸収率(SAR)に関する情報

この製品は、電波の暴露について適用される安全要件を満たすように設計されています。これらの要件は、年齢や健康状態に関係なく、すべての人々の安全の確保を目的とするもので、安全域などの特定のガイドラインに基づいています。

- ・電波の暴露のガイドラインでは、比吸収率(SAR)と呼ばれる測定単位を採用しています。SARの検査は、使用される全周波数帯域内の最大認定電力で電波を送出するデバイスを対象に標準的な方法で実施されます。
- ・LGの製品デバイスはモデルごとにSAR値が異なることもありますが、どの機種も電波の露出に関連するガイドラインに準拠するよう設計されています。
- ・国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が推奨するSARの上限は、生体組織10g当たり平均で2W/kg、または、肢体に装着される状態でのSAR値は、10g当たり平均で4.0W/kgです。
- ・このモデルの最大SAR値は、口の隣(顔)で使用した場合が0.016W/kg(10g)、身体に装着した場合が0.385W/Kg(10g)です。
- ・このデバイスは、お客様の体(手首)とデバイスの背面の間の距離が0cmである、一般的な肢体に装着(手首)した状態でテストされました。さらに、ユーザーの口(顔)とデバイスの前面の間の距離が1cmに保たれた状態で、一般的な口(顔)をデバイスの前面を向けて操作する場合もテストされました。R&TTE SARの要件を遵守するために、口(顔)をデバイスの前面を向けて使用する場合は、最低でも顔から1cm離すようにしてください。

改造された機器は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

## EUの法規適合宣言

LG Electronicsは、LG-W150製品がDirective 1999/5/ECの基本要件およびその他の関連条項に準拠していることをここに宣言します。法規適合情報については、<http://www.lg.com/global/declaration>を参照してください。

## オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

本製品をお買い求めから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール([opensource@lge.com](mailto:opensource@lge.com))にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただいてから、CD-ROMにてご提供いたします。

## 規制情報

- 1 アプリケーションリストが表示されるまで**電源ボタン**を長押しします。
- 2 **[設定]>[端末情報]>[規制情報]**の順にタップし、規制情報を確認します。

## デバイスのアップデート方法

最新のファームウェアリリース、最新のソフトウェア機能、および改善された機能をご利用ください。

- 1 アプリケーションリストが表示されるまで**電源ボタン**を長押しします。
- 2 **[設定]>[端末情報]>[システムアップデート]**の順にタップし、確認します。

## 本端末の取り扱いについて

本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

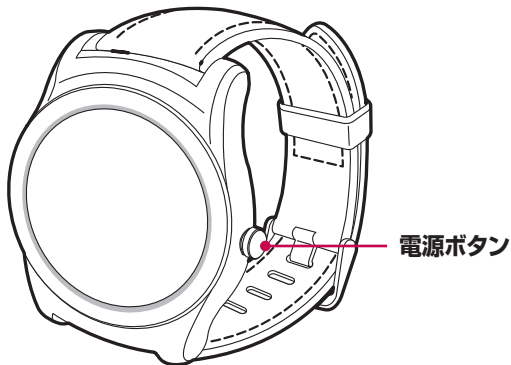
表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

貴重な金属を再利用し、地球環境を守るために、不要になった電池は廃棄せず、最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ち下さい。詳細は、一般社団法人J BRCのホームページをご参照ください。

ホームページ: <http://www.jbrc.com>

## ウォッチの基本情報

### ウォッチの外観



**注:**タッチスクリーンは、他の電気機器と接触させないようにしてください。静電気放電がタッチスクリーンの誤動作につながる可能性があります。

## 電源ボタン

### 画面がオフの間に:

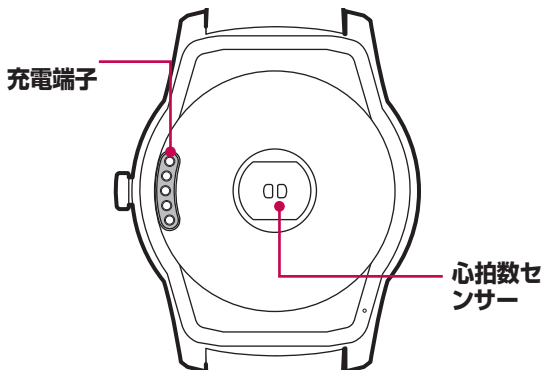
- ・LGのロゴが表示されるまで、数秒間長押ししてオンにします。

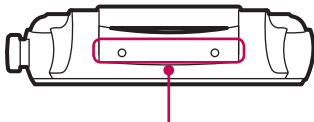
### 画面がフリーズした時:

- ・LGのロゴが表示されるまで、10秒以上長押しして再起動します。

### デバイスがアイドル状態のとき:

- ・短く1回押して画面を呼び出し、電源をオフにします。
- ・短く2回押して、[シアターモード]のオン/オフを切り替えます。
- ・短く3回押して[明るさの強調]をオンにします。





### ⚠ 警告

デバイスの下にある穴をふさいだり、とがったもので押しついたりしないでください。デバイスが正しく動作しなくなる場合があります。

## ウォッチの充電

初めてこのウォッチをお使いになる前にバッテリーを充電してください。ウォッチのバッテリー充電には、同梱されている充電クレードルを使用します。

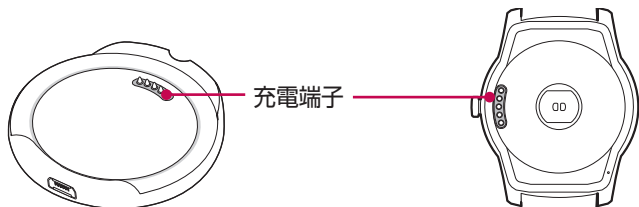
PCを使用してバッテリーを充電することもできます。ウォッチに同梱されているUSBケーブルでコンピューターと充電クレードルを接続してください。

**注:** バッテリー残量が低下すると空のバッテリーアイコンが示されます。バッテリーが完全に空になると、ウォッチを充電器に接続してもすぐには起動しません。空になったバッテリーを数分間充電してから、デバイスの電源を入れてください。バッテリー充電中には利用できない機能があります。

### ⚠ 充電端子の腐食に関して注意が必要です。

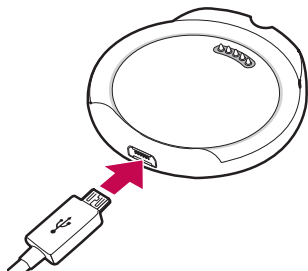
製品は使用中に汗または異物にさらされるため、充電中に端子が腐食する可能性があります。この問題を防ぐため、充電前に布で製品を拭いてください。

- 1 ウォッチの充電端子と充電クレードルの充電端子の位置を合わせます。

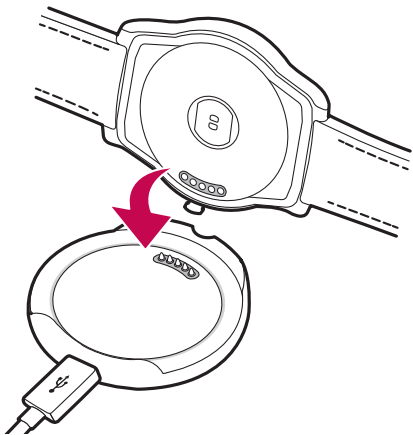


**注:**充電クレードルはこのウォッチ専用設計されており、他の機器との互換性はありません。

- 2** 付属のUSBケーブルの小さいほうのコネクタを充電クレードルのUSBポートに差し込みます。



- 3** ウォッチを充電クレードルの上に置き、充電端子が互いに向き合っていることを確認します。



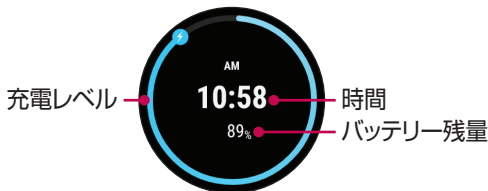
- 4** 充電クレードルをコンセントに差し込みます。ウォッチの電源がオフの場合、自動的にオンになります。
- 5** ウォッチのバッテリーが完全に充電されたら、機器を充電クレードルからはずしてください。

**注:**

- 充電中で、ウォッチへの供給電力が不安定な場合、タッチスクリーンが機能しないことがあります。
- 充電中にウォッチが暖かくなることがあります。これは正常な状態です。ただし、通常より熱くなる場合は、充電器をはずしてください。

## 充電モード

初期設定後は、充電中に次のような充電画面が現れます。バッテリー残量と時間を確認してください。右にスワイプするとウォッチ画面に戻ります。



## 画面がフリーズした場合

デバイスがフリーズして作動停止した場合は、画面にLGのロゴが表示されるまで**電源ボタン**を10秒以上長押しします。


## ウォッチの電源オン/オフ

ウォッチをオンにする

**電源ボタン**(デバイスの右側)を数秒押し続けてウォッチをオンにします。画面が点灯し、LGのロゴが表示されます。



### ウォッチをオフにする


- 1 アプリケーションリストが表示されるまで**電源ボタン**を長押しします。
- 2 **[設定]** > **[電源OFF]**の順にタップします。
- 3 **[電源OFF:確認]**というプロンプトが表示されたら  をタップします。

## 別のモバイルデバイスに接続する

ウォッチを別のデバイスに接続するには、デバイスをリセットする必要があります。

### ウォッチのリセット

この設定では、ウォッチの設定が工場出荷時のデフォルト値にリセットされ、すべてのデータが削除されます。

- 1 アプリケーションリストが表示されるまで**電源ボタン**を長押しします。
- 2 **[設定]** > **[初期化]**の順にタップします。確認のメッセージが表示されます。
- 3  をタップします。
  - ・ウォッチは1度に1台のモバイルデバイスに接続します。
  - ・工場出荷状態にリセットすると、ウォッチのメモリーからすべてのデ

一タが消去されます。リセット完了後、別のモバイルデバイスに接続できるようになります。

## タッチスクリーンのヒント

ウォッチをナビゲートする方法について、いくつかのヒントをご紹介します。

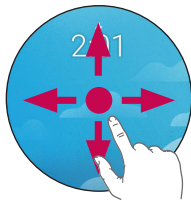
- ・ **タップまたはタッチ** - 指先で1回タップすると、アイテム、リンク、ショートカット、オンスクリーンキーボードの文字が選択されます。
- ・ **長押し** - アイテムを長押しするには、画面上のアイテムをタップし、アクションが生じるまで指を放さないようにします。
- ・ **スワイプまたはスライド** - スワイプまたはスライドするには、アイテムにタップしたらすぐに、画面の表面を横切るように指をすばやく動かします。



タップまたは  
タッチ



タッチとホールド



スワイプまたはス  
ライド

## ウォッチの装着方法

### 耐水性についての注意

ウォッチは管理された環境でテストされており、特定の環境での防水/防塵機能を備えていることが実証されています。国際標準IEC60529:国際電気標準会議にて標準化されているエンクロージャによる保護等

級 [IPコード] (Degrees of Protection provided by Enclosures [IP Code]) で規定される IP67 等級の要求を満たしています。実施されたテスト条件は、15～35℃、86～106 kPa、水深 1m、30 分間です。この等級にかかわらず、ウォッチは、水による損傷に対して完全に耐久性があるわけではありません。

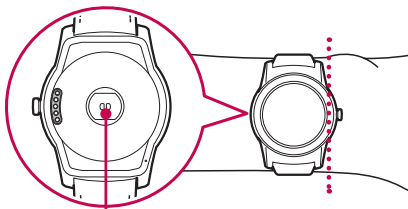
- ・ウォッチを 1m よりも深い水中に沈めないでください。また、30 分を超えて水没させないでください。
- ・ウォッチを、海の波、滝などの **高圧の水** にさらしてはなりません。
- ・ウォッチや手が濡れている場合は、完全に乾かしてから操作してください。
- ・ウォッチを **塩水、イオン水、石鹸水** にさらしてはなりません。
- ・ **落としたり、衝撃を与えたりすることで** ウォッチの防水防塵機能が損なわれることがあります。
- ・ウォッチが濡れた場合は、清潔な柔らかい布を使って完全に乾かしてください。
- ・ **ウォッチを水またはその他の液体中で使用する** 場合、タッチスクリーン、その他の機能が正しく動作しないことがあります。
- ・ **ウォッチが水没した場合、またはマイクやスピーカーが濡れた場合**、通話中の音質が影響を受けることがあります。マイクまたはスピーカーを乾いた布でふいて、清潔で乾いた状態にしてください。

#### **レザーストラップの装着に関するご注意**

- ・ LG Watch Urbane のステッチ入りレザーストラップは、高い品質基準に適合するために厚くなっています。レザーストラップを装着する前に、何度かストラップを前後に曲げてください。そうすることで、装着したときに手首になじみやすくなります。
- ・ ご使用者の肌の状態によっては、ウォッチに接触すると肌にアレルギー症状が出る場合があります。

## 心拍数センサー

心拍数を測定する前に、ウォッチを手首に正しく装着します。



心拍数センサー




### 注意:

- ゆるく取り付けられていたり、動きが大きすぎたりすると、測定が不正確になります。
- 心拍数センサーの光を直接見ないでください。目を傷める場合があります。
- 心拍数を正確に測定できない場合は、ウォッチが手首の内側にあたるように装着してもう一度測定します。

# ウォッチのモバイルデバイスへの接続

## ペアリングの前に

ペアリングする前に、電話機またはタブレットで以下の手順を実行します。

- 1 電話機またはタブレットのAndroidバージョンが、Android 4.3以降であり、Bluetooth®をサポートしていることを確認します。
  - ・ 電話機またはタブレットがAndroid Wearをサポートしているかどうかを確認するには、電話機またはタブレットから<http://g.co/WearCheck>にアクセスしてください。
  - ・ 電話機またはタブレットがAndroid 4.3以降でない場合は、使用可能なソフトウェアアップデートについてメーカーに確認してください。
- 2 電話機またはタブレットがウォッチのすぐ隣にあることを確認します。
- 3 電話機またはタブレットで、**Playストア**  アプリから**Android Wear**  アプリをダウンロードしてインストールします。電話機またはタブレットに、**Android Wear**  アプリがインストールされており、最新バージョンにアップデートされていることを確認します。
- 4 電話機またはタブレットが、モバイルデータまたはWi-Fiに接続されていることを確認します。ウォッチを初めてセットアップする際には、データ接続が必要です。
- 5 セットアップ中はウォッチを電源に接続しておきます。


### 注意:

- ・ ウォッチにインストールされたソフトウェアによっては、アップデートがウォッチによって自動的にダウンロードされてインストールされる場合があります。
- ・ ネットワークの状態によっては、セットアップ処理に20分以上かかる場合があります。

## ウォッチをペアリングする方法

- 1 ウォッチをオンにし、初期画面を左にスワイプして開始します。
- 2 言語をタップします。
- 3 ウォッチを電源に接続して、左にスワイプして次に進みます。

**ヒント:**バッテリーが20%未満の場合、次のステップに進む前にまずウォッチを充電してください。

- 4 ウォッチコードが表示されるまで、画面に表示される指示に従って左にスワイプします。
- 5 電話機またはタブレットで、**Android Wear**  アプリを開きます。Bluetoothが有効になっていない場合は、セットアップ中に有効にします。
- 6 電話機またはタブレットに、周辺デバイスの一覧が表示されます。ウォッチのコードをタップします。
- 7 ペアリングコードが電話機またはタブレットとウォッチに表示されます。コードが一致していることを確認します。
- 8 電話機またはタブレットで[**ペアリング**]をタップして、ペアリングを開始します。
- 9 ペアリングされると、ウォッチに確認メッセージが表示されます。これには数分かかる場合があります。少しお待ちください。
- 10 画面に表示される指示に従って、初期セットアップを完了します。

## ペアリング後

Android Wearの操作性を最適にするために、**Google Now**および**位置情報サービス**をオンにすることをお勧めします。設定がオンになっていない場合は、[**Google 設定**]または[**設定**]に進みます。

# ウォッチの使用法

## まずウォッチの画面を操作する(時刻が表示される)

ウォッチをスリープモードから回復させます。ウォッチの画面が暗くなっている場合は、次の方法でウォッチをスリープモードから回復させることができます。

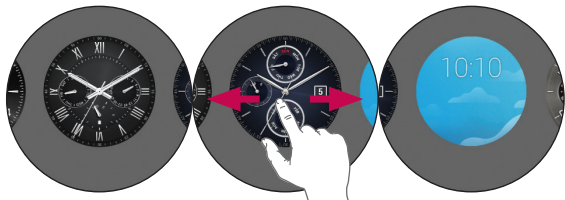
- ・画面をタッチします。
- ・ウォッチの画面が上を向くように手首を回します。
- ・ウォッチの電源ボタンを押します。


## 画面のクイックスリープ

振動するまで手のひらで画面を押します。これによりウォッチ画面をスリープにできます。

## ウォッチ画面の変更

- 1 ウォッチ画面の任意の場所を数秒間長押しします。
- 2 右または左にスワイプして、デザインを参照し、タップしてデザインを選択します。



**ヒント: Android Wear**  アプリでウォッチフェイスをダウンロードして変更することもできます。

## 通知カード

携帯電話に表示される通知の大半は、ウォッチにも表示されます。これには、不在着信の通知、テキスト、イベントのリマインダーなどが含まれます。

通知はカードの形式で時計の画面の下段に表示されます。

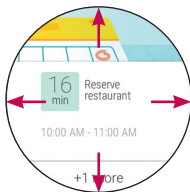
**上にスワイプすると他のカードが表示されます。**



**カードのプレビュー**

カードの下にスワイプしてカードを隠します。

**左にスワイプすると、詳細情報やオプションが表示されます。**



**下にスワイプするとホーム画面に戻ります。**

**右にスワイプすると、そのカードが消えます。**

カードを表示するには、画面の下部から上にスワイプします。

カードをタップすると詳細情報が表示されます。追加のカードを表示するには、画面の下部から上にスワイプし続けます。


カードを削除するには、左から右にスワイプします。

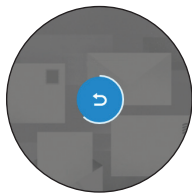
カードの表示が済んだら、カードを消すことができます。ウォッチでカードを削除した場合、電話機上で同じカードまたは通知が消えます。

詳細を表示するには、カードを右から左にスワイプします。

一部のカードには詳細情報や、実行できるアクションがあります。

### カードの回復




カードを消した後、ウォッチ画面を上から下へスワイプし、[回復]ボタン  をタップします。数秒でカードを取り戻せます。最後のカードをストリームからスワイプ消去した場合は、画面の下部から上へスワイプして[回復]ボタンを表示させます。



## ブロック通知

ウォッチで表示したくない通知を携帯電話で確認するには、での表示を特定のアプリで停止します。

### ウォッチからアプリをブロック

- 1 ウォッチでカードへ進みます。
- 2  が表示されるまで、右から左にスワイプします。
- 3  >  の順にタップして確認します。

### 電話機でAndroid Wearを使用してアプリをブロック

- 1 電話機で、**Android Wear**  アプリを開きます。
- 2  > 複数のデバイスがある場合は、ウォッチ名をタップします。>

[**アプリ通知のブロック**] > **+**の順にタップします。

**3** ブロックするアプリを選択します。

## 着信通知

電話機の着信時に、瞬時に着信通知を受け取れます。通知には発信者の電話番号または電話機に登録されている連絡先が表示され、着信の受諾/拒否ができます。

**注:**ウォッチでは通知を受け取るだけです。電話に応答するには、ウォッチとペアリングした電話機を使用してください。



## 通知受け取りの変更

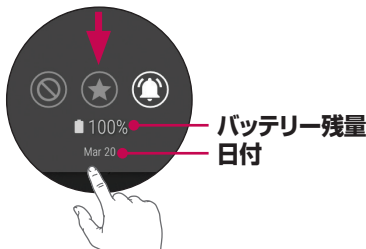
ウォッチへの通知表示内容およびタイミングを変更できます。中断設定を変更するには、ウォッチ画面を上から下へスワイプします。中断オプションが表示されるので、**[非表示]**、**[優先のみ]**、または**[すべて表示]**を選択してタップします。

- ☉:すべての中断をオフにする場合にタッチ。
- ★:優先の場合のみ中断する場合にタッチ。
- ⦿:すべての中断を許可する場合にタッチ。

注:OSのバージョンによっては、デバイスとコンテンツが異なる場合があります。

## バッテリー残量または日付を表示する

画面の上部から下にスワイプします。




注:OSのバージョンによっては、デバイスとコンテンツが異なる場合があります。

## シアターモードの画面を一時的にオフにする

ウォッチ画面をオフにして、ディスプレイがライトアップされて通知が表示されるのを避けられます。

・電源ボタンを2度すばやく押します。

または


- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタッチすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 画面の上部から下にスワイプします。[シアターモード]  が表示されるまで、右から左にスワイプします。アイコンをタップしてオンにします。

## 一時的に画面の輝度を増大させる

戸外の日差しの強い場所で使用する場合に、明るさを一時的に増大できます。一時的な明るさの増大は数秒後に自動的にオフになります。

・電源ボタンを3度すばやく押します。

または

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタッチすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 画面の上部から下にスワイプします。[明るさの強調]  が表示されるまで、右から左にスワイプします。アイコンをタップしてオンにします。

## 設定メニューの利用

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 画面の背景の任意の場所をタップし、上へスワイプして[設定]メニューへ進みます。

または



画面の上部から下へスワイプし、[設定]メニューが表示されるまで左にスワイプし、[設定]  をタップします。

## ストレージの管理

電話機のAndroid Wear  アプリで、次の項目が確認できます:

- ・ストレージの空き容量
- ・ウォッチの全ストレージ容量
- ・ウォッチのストレージで使用しているアプリやサービス

## ストレージの詳細を表示するには:

- 1 ウォッチが電話機に接続されていることを確認してください。
- 2 電話機で、**Android Wear**  アプリを開きます。
- 3  > 複数のデバイスがある場合は、ウォッチ名をタップします。> **[時計のストレージ]**の順にタップします。

## 音声コマンドを使用するタスク

ウォッチのシンプルなタスクのメニューを表示して、このリストのコマンドも音声入力で行えます。「オーケーグーグル(Ok Google)」と発声するか、ホーム画面を左にスワイプして[お話しください]オプションを表示させ、コマンドまたは質問を発声します。

たとえば、[お話しください]メニューで[ストップウォッチの開始]をタッチできます。

音声で同じことをするには、画面に向かって「オーケーグーグル、ストップウォッチを開始」と発声します。

**注:**いくつかの音声操作は、一部の言語および国では利用できません。

次の手順に従って、ウォッチの音声操作を開始します。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチフェイスで「オーケーグーグル(Ok Google)」と発声します。[お話しください]と表示されます。
- 3 コマンドまたは質問を発声します。


タッチで目的の機能を開く場合:


- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 画面の背景の任意の場所をタップします。
- 3 [お話しください]と表示されるまで左にスワイプします。
- 4 下にスワイプして、実行したいタスクを選びます。

**ヒント:**実行可能な項目リスト上部に最近使用したアプリが表示されます。

## 音声操作に使用するアプリの変更

さまざまな音声操作に使用するアプリを設定できます。たとえば、アラームの設定やメッセージの送信に使用するアプリを変更できます。

- 1 携帯電話で、**Android Wear**  アプリを開きます。
- 2 画面の下段に、操作のリストが表示されます。
- 3 スクロールして、操作をタッチします。使用可能なアプリを選択できます。

**ヒント:** Android Wearで使用できるアプリを、**Playストア**  からダウンロードすることもできます。

## メモを作成または表示する

**QuickMemo+**や**Google Keep**などのAndroidアプリを使用し、ウォッチに話しかけて、メモを作成したり既存のメモを表示したりできます。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。【**お話しください**】と表示されます。
- 3 【**メモの作成(Take a note)**】と発声します。
- 4 プロンプトが表示されたら、メモを発声します。(例: 「メインストリートの新しいレストランを試す(Try the new restaurant on Main Street)」)。数秒後にメモは自動的に保存されます。取り消したい場合は、**X**をタッチします。
- 5 初めてこの機能を使用する場合は、携帯電話の関連アプリがウォッチに表示されます(**Google Keep**や**QuickMemo+**など)。使用するアプリを選択すると、次回からは選択したアプリがデフォルトとして表示されます。

**注:**電話機にQuickMemo+やGoogle Keepがインストールされている場合:

- このアプリによって、音声テキストに変換されます。口述が終わると、テキストがモバイルデバイスの**QuickMemo+**や**Google Keep**に保存されません。
- モバイルデバイスのアプリを開いて、メモを表示したり編集したりします。

## リマインダーを設定する

ウォッチに向かって発声してリマインダーを設定することができます。リマインダーを設定すると、リマインダーがオフになったときにカードが表示されます。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。[お話しください]と表示されます。
- 3 [リマインダー(Remind me)]と発声します。
- 4 プロンプトが表示されたら、リマインダーを完了します。数秒後リマインダーは自動的に保存されます。取り消したい場合は、**X**をタッチします。

## 歩数を表示

この機能によって、Fitアプリで測定し、今日歩いた歩数を表示したり、1週間の歩数の記録を振り返ったりすることができます。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。[お話しください]と表示されます。

音声コマンドを使用するタスク

- 3 **[歩数を表示 (Show me my steps)]**と発声します。歩数、フィットネスの目標に向けての進捗、日々の歩数の棒グラフを表示することができます。
- 4 日々の合計歩数のリストを表示するには、画面を上(下端から上端)にスワイプします。

## 心拍数の表示

心拍数アプリを使用して、現在の心拍数を測定、記録することができます。

**注:**デバイスの心拍数測定機能は、臨床または医療診断には使用しないでください。「**ウォッチの装着方法**」および「**正確に測定するには**」のガイドラインに従って、心拍数が正確に測定されていることを確認してください。

### 正確に測定するには

条件や周囲の環境によっては、心拍数の測定が不正確になることがあります。心拍数をより正確に測定するには、次の手順に従います。

- ・喫煙や飲酒後に心拍数を測定しないでください。喫煙や飲酒は心拍数に影響する可能性があります。
- ・気温が低いときに心拍数を測定しないでください。または、体が暖かくなってから心拍数を測定してください。
- ・手首が細すぎると、心拍数を正確に測定できない場合があります。

### 心拍数の測定

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル (OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。【**お話しください**】と表示されます。
- 3 **[心拍数を表示 (Show me my heart rate)]**と発声します。

- 4 この機能を最初に使用する場合は、**Google Fit**または**LGパルス**を選択する必要があります。使用するアプリを選択すると、次回からは選択したアプリがデフォルトとして表示されます。
- 5 ウォッチが心拍数計測を開始します。しばらくすると、心拍数測定履歴とともに、心拍数が画面に表示されます。
- 6 もう一度測定するには、再度**[再チェック]**をタップします。

## テキストの送信

この機能を使用すると、ウォッチを使用して、モバイルデバイスに保存されている連絡先宛にテキストメッセージを口述できます。テキストメッセージカードに表示されている受信テキストメッセージに返信することもできます。

### メッセージの送信

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。**[お話しください]**と表示されます。
- 3 **[smsを送信(Send a text)]**と発声します。
- 4 **[送信先(To whom?)]**画面が表示されます。テキストメッセージを送信したい連絡先を発声し、表示された連絡先リストから目的の連絡先を選択します。
- 5 送信するメッセージを発声するように要求するメッセージが表示されます。メッセージを発声するか、絵文字を挿入します。
- 6 メッセージは自動的に送信されます。

### メッセージの返信

携帯電話でメッセージ通知を受信した場合に、カードが表示されます。**[返信]**が表示されるまで、右から左にスワイプします。

[返信]をタップして、メッセージを発声します。

## 電子メール

ウォッチを使用して、メールを作成することや、モバイルデバイスで受信したメールを読むことができます。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。**[お話しください]**と表示されます。
- 3 **[メールを送信(Email)]**と発声します。
- 4 **[送信先(To whom?)]**画面が表示されます。**[お話しください]**と表示されます。
- 5 電子メールを送信したい連絡先を発声し、表示された連絡先リストから目的の連絡先を選択します。
- 6 送信するメッセージを発声するように要求するメッセージが表示されます。
- 7 メッセージは自動的に送信されます。

### 携帯電話で電子メールをチェック

モバイルデバイスのメールの表示に戻り、メッセージカードを右から左にスワイプして、**[端末で開く(Open on phone)]**をタップします。

### 電子メールへの返信

右から左にスワイプすると、アーカイブや返信などの別の操作を実行できます。**[返信]**をタップして、メッセージを発声します。メッセージは自動的に送信されます。

## Eメールメッセージの削除

メッセージカードを右から左にスワイプして、**[削除(Delete)]**をタップします。

## 予定リスト

ウォッチを使用して、モバイルデバイスのカレンダーでスケジュールされたイベントを表示できます。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。**[お話しください]**と表示されます。
- 3 **[予定リスト]**と発声します。スケジュールされたイベントのリストが表示されます。
- 4 イベントをタップすると、イベントの詳細が表示されます。

## ナビゲーション

ウォッチを使用して、選択した目的地までの道順を調べることができます。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。**[お話しください]**と表示されます。
- 3 位置に続いて「**ナビを開始(Navigate)**」と発声します。

## タイマーを設定する

ウォッチはカウントダウンタイマーとして使用できます。タイマーを設定すると、新しいカードでカウントダウンが始まります。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。【**お話しください**】と表示されます。
- 3 [タイマー設定(Set a timer)]と発声します。
- 4 使用可能な時間をスワイプし、目的の時間をタップしてタイマーを開始します。
  - ・▶をタップするとカウントダウンが開始/再開されます。
  - ・タイマーを一時停止するには、||をタップします。

### タイマーを消す:

タイマーがオフになったら、画面上で左から右にスワイプして消します。



## ストップウォッチを使用する

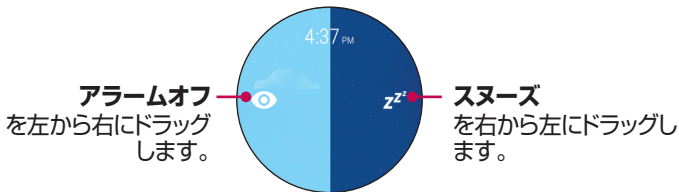
ストップウォッチアプリを使用して経過時間を測ります。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「**オーケーグーグル(OK Google)**」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。【**お話しください**】と表示されます。
- 3 [ストップウォッチ(Start stopwatch)]と発声します。
- 4 ▶をタップして開始します。

## アラームを設定する

ウォッチでは複数のアラームを設定できます。ウォッチと電話機のアラームは別々のアラームです。

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
  - 2 ウォッチ画面で「オーケーグーグル(OK Google)」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。【お話しください】と表示されます。
  - 3 [アラーム設定(Set an alarm)]と発声します。
  - 4 上または下にスワイプして目的のアラーム時間を見つけます。
  - 5 アラームが繰り返される場合は、 をタップして設定します。
  - 6  をタップして、アラームを保存します。
- アラームがオフになると、ウォッチが振動し、カードが表示されます。



## アラームを表示する

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 ウォッチ画面で「オーケーグーグル(OK Google)」と発声するか、画面の背景の任意の場所をタッチして左にスワイプします。【お話しください】と表示されます。

- 
- 
- 3 **[アラームを表示(Show alarms)]**と発声します ウォッチで設定したアラームのリストが表示されます。

## アプリの使用


アプリケーションリストには、ウォッチに付属のアプリケーションのリストが用意されています。

ウォッチにインストールされているアプリを入手するには:

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 画面の背景の任意の場所をタッチして、アプリケーションリストを開きます。



## 他のアプリのダウンロード

**Playストア**  におすすめアプリリストを表示できます。

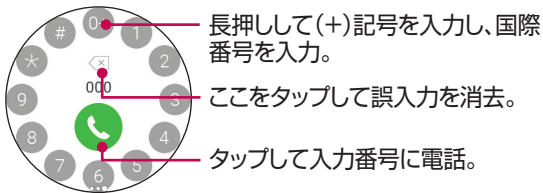
携帯電話に追加アプリをダウンロードするには、**Android Wear**  アプリを開きます。

## 通話

ウォッチにダイヤルパッドを表示し、電話番号を入力します。

- 1 アプリケーションリストが表示されるまで**電源ボタン**を長押し、**[通話]**  をタップします。
- 2 ダイヤルが表示されるまで上へスワイプします。
- 3 電話番号を入力し、 をタップします。電話機は、ウォッチに入力した番号に電話をかけます。

**ヒント:** [最近使用]リストや[お気に入り]リストからも電話をかけられます。



**注:**この機能は2015年5月に予定されているソフトウェア更新後有効になります。

## Google Fitアプリの使用

Fitアプリで、歩数や距離を計測、表示できます。心拍数の測定結果も表示されます。

Android Wearウォッチとペアリングした電話機にGoogle Fitアプリをインストールすると、そのデータを両デバイス間で同期し、すべてのFit機能を使用できます。

アプリケーションリストが表示されるまで**電源ボタン**を長押し、**[Fit] ♥**をタップします。左にスワイプして詳細を表示します。

### 今日歩いた歩数の概算を表示する

ウォッチに向かって発声するかメニューにより、歩いた歩数の概算を表示することができます。

**[お話しください]**と表示されたら、「**オーケーグーグル(OK Google)**」、「**歩数の表示(Show me my steps)**」と発声します(「**歩数の表示**」の項を参照してください)。

**または**



**Fit ♥** アプリを開きます。

## 心拍数のチェック

ウォッチに向かって発声するかメニューにより、心拍数を表示することができます。

**[お話しください]**と表示されたら、「**オーケーグーグル(OK Google)**」、「**心拍数の表示(Show me my heart rate)**」と発声します(「**心拍数の表示**」の項を参照してください)。

**または**

- 1 Fit**  アプリを開き左にスワイプすると心拍数が表示されます。
- 2** 下へスワイプして心拍数測定履歴を表示するか、 をタップして心拍数を測定します。

## [設定]メニューの表示

- 1 画面が暗くなっている場合は、画面をタップすると、ウォッチがスリープモードから回復します。
- 2 画面の背景の任意の場所をタップし、上へスワイプして**[設定]**メニューへ進みます。

### または


- ・ 画面上部から下にスワイプし、**[設定]**メニューが表示されるまで左にスワイプし、**[設定]**  をタップします。

## ディスプレイの明るさの調整

ウォッチディスプレイの明るさは、デバイス自体で変更することができます。

- 1 **[設定]**画面で、**[明るさの調整]**をタップします。
- 2 オプションをタッチして、明るさのレベルを選択します。

## ウォッチの画面を変更する

ウォッチ画面のデザインを変更するには、ウォッチ画面の背景を長押しする、電話機の**Android Wear**  アプリを使用する、またはウォッチの**[設定]**メニューで変更する、という方法があります。

- 1 **[設定]**メニューで、**[ウォッチフェイスの変更(Change watch face)]**をタップします。
- 2 右や左にスワイプしてデザインを参照します。左端までスクロールすると、現在のウォッチ画面が表示されます。
- 3 新しいデザインをタップして選択します。

## フォントサイズ

ウォッチに表示するフォントサイズを設定できます。

- 1 **[設定]**メニューで、**[フォントサイズ]**をタップします。
- 2 オプションをタッチして、サイズレベルを選択します。

## 手首のジェスチャー

動きのジェスチャーでウォッチ画面を呼び出したりスリープにしたりできます。ウォッチの画面が上を向かうように手首を回します。

- ・ **[設定]**メニューで、**[手首の操作]**をタップしてオン/オフを切り替えます。

## Wi-Fi設定

Wi-Fiを自動モードにすると、Bluetoothが使用できない場合でもウォッチと電話機を同期できます。Bluetoothが切断されると、Wi-Fiが自動的にオンになります。ウォッチでWi-Fi接続を使用すると、Bluetoothを使用できない場合でも、電話機またはタブレットから通知を取得できます。ウォッチは、電話機に登録されたWi-Fiリストに基づいて検索し、最も近くのWi-Fiネットワークに接続されます。

- ・ **[設定]**メニューで、**[Wi-Fi設定]**をタップして自動/オフを切り替えます。

## Bluetoothデバイス

範囲内にあるBluetoothデバイスを自動的に検索します。現在ウォッチに接続されているBluetooth接続を解除することもできます。

- ・ **[設定]**メニューで、**[Bluetooth端末]**をタップします。

## 常に画面表示の設定

ウォッチ非使用時に、画面の時間表示または完全に非表示を選択設定できます。画面表示オフに設定されている場合、ウォッチを傾けるか画面を覆うと画面が表示されます。

- ・ **[設定]**メニューで、**[常に画面表示]**をタップしてオン/オフを切り替えます。
  - ・ **オン**:ウォッチがアイドル状態のときに、薄暗いウォッチ画面が表示されます。
  - ・ **オフ**:アイドル状態のときにウォッチ画面が暗くなります。

## 機内モード

機内モードがオンになっている場合、航空機内やデータの送受信が禁止されている場所で、心拍数などのウォッチの多くの機能を使用できます。


**重要!** 機内モードになっている場合、ウォッチはモバイルデバイスに保存された情報にアクセスできません。モバイルデバイスでも機内モードを有効にする必要があります。

- ・ **[設定]**メニューで、**[機内モード(Airplane mode)]**をタップして、この機能を有効または無効にします。

## ユーザー補助


- ・ **[設定]**メニューで、**[ユーザー補助] > [拡大操作(Magnification gestures)]**の順にタップし、3回タップして、ズームイン/アウトができるように、拡大機能を有効にします。

## 工場出荷時へのリセット

- 1 **[設定]** > **[初期化]**の順にタップします。確認のメッセージが表示されます。
- 2  をタップします。
  - ・ウォッチは1度に1台のモバイルデバイスに接続します。
  - ・工場出荷状態にリセットすると、ウォッチのメモリーからすべてのデータが消去されます。リセット完了後、別のモバイルデバイスに接続できるようになります。

## 再起動


ウォッチを再起動します。

- 1 **[設定]**メニューで、**[再起動]**をタップします。メッセージが表示され、ウォッチを再起動することを確認する必要があります。
  - 2  をタップして、ウォッチを再起動します。
- または**
- ・ **電源ボタン**を10秒以上長押しします。ウォッチは電源オフ後、再びオンになります。

## 画面ロック

タップして画面ロックを設定します。指でパターンを描いてロックを解除します。

## 電源オフ

- 1 **[設定]**メニューで、**[電源OFF]**をタップします。
- 2 **[電源OFF:確認]**というプロンプトが表示されたら  をタップします。

## バージョン情報

ウォッチに関する情報が表示されます。モデル、デバイス名、ソフトウェアのバージョン、シリアル番号、ビルド番号、接続とバッテリーの情報を表示できます。次のオプションも使用できます。

- ・ **[設定]**メニューで、**[端末情報]**をタップします。
  - ・ **システムアップデート(System updates)**:最新のソフトウェアがウォッチに読み込まれていることを確認します。
  - ・ **規則情報**:規則情報が表示されます。
  - ・ **法的通知(Legal notices)**:モバイルデバイスで法的通知を参照するように指示されます。

# 本取扱説明書について

## 本取扱説明書について

- ・本装置を使用する前に、本取扱説明書を熟読する必要があります。このことは、本製品を正しく安全に使用するために必要です。
- ・本取扱説明書に記載されている画像やスクリーンショットは、製品での表示と異なる場合があります。
- ・本取扱説明書の内容は、最終製品やサービスプロバイダーまたは通信事業者によって提供されるソフトウェアと異なる場合があります。本取扱説明書の内容は予告なく変更される場合があります。本取扱説明書の最新バージョンについては、LGのWebサイト([www.lg.com](http://www.lg.com))をご覧ください。
- ・本製品のアプリケーションとその機能は、国、地域、またはハードウェアの仕様によって異なる場合があります。LGは、LG以外のプロバイダーによって開発されたアプリケーションを使用したために生じたパフォーマンスの問題について責任を負いません。
- ・LGは、レジストリ設定の編集やオペレーティングシステムのソフトウェアの変更から生じる、パフォーマンスや互換性の問題について責任を負いません。ご使用のオペレーティングシステムをカスタマイズしようとした結果、本デバイスまたはそのアプリケーションが本来の動作をしなくなることがあります。
- ・デバイスとともに提供されているソフトウェア、オーディオ、壁紙、画像、およびその他のメディアについては限定された用途のライセンスのみが供与されています。これらの素材を抽出して商用その他の目的のために使用すると、著作権法を侵害する可能性があります。お客様は、メディアの違法な使用について全面的に責任を負うことに注意してください。
- ・メッセージ、アップロード、ダウンロード、自動同期、位置情報サービスの使用などのデータサービスを利用すると追加料金が発生する場合があります。追加料金の発生を避けるために、お客様のニーズ

に適したデータプランを選択してください。詳細については、サービスプロバイダーにお問い合わせください。

## 商標

- ・ LGおよびLGロゴは、LG Electronics社の登録商標です。
- ・ その他の商標および著作権は各所有者の所有物です。

## 付属品

このデバイスでは、次の付属品を使用できます。(下記のアイテムは別売品の場合があります)。

- ・ 旅行用アダプタ
- ・ クイックスタートガイド
- ・ USBケーブル
- ・ 充電クレードル

### メモ:

- ・ LGの正規付属品を必ずご使用ください。提供されるアイテムはこのデバイス専用に設計されたものであり、他のデバイスとの互換性はありません。
- ・ お住まいの地域やサービスプロバイダーによって、デバイスとともに供給される品目や、使用可能な付属品が異なる場合があります。





お問い合わせ先番号:0120-011-167  
受付時間:平日 午前9:00~午後 6:00  
(土日祝日, 年末年始および所定の休日を除く)



CE0168